



ワークライフ・バランス(WLB)ニュース



第12号（平成29年5月31日発行）

北村山公立病院看護部WLB推進チーム

第5回「看護職のWLB推進カンゴザウルス賞」授賞式

5月18日に東京のアルモニーソルーナ表参道にて開催された第5回「看護職の WLB 推進カンゴザウルス賞」

授賞式に深瀬看護部長を代表に参加してきました。日本看護協会会長、坂本すが会長の挨拶ではじまり、99施設が表彰を受けました。山形県からは、北村山公立病院と日本海総合病院酒田医療センターの2施設が表彰を受け、なごやかな雰囲気での授賞式でした。



日本看護協会坂本会長



授賞式に参加して

坂本協会長からWLBを3年間取り組んだ全国99施設の代表者へ賞状とカンゴザウルスが手渡され、挨拶では「今年でこの事業は終わりになりますが、これからも職場環境改善に取り組んでほしい」と話されました。

3年間で取り組んだ結果は、私達が少しでも今の環境を良くしようと、いろいろな智恵を出し合って改善してきた成果だと思います。これからも私達ひとり一人が環境改善を考えて仕事と生活をより充実させていければと願っています。

深瀬

このたび。東京の表参道にある会場で行われたカンゴザウルス賞授賞式に出席させていただきました。坂本すが日本看護協会長さんから表彰式と記念品であるカンゴザウルスをいただいてきました。全国から99施設の方々が集まり、熱気あふれる会場で盛大に行われました。志を同じくする看護職の集まりに参加し今後もより良いWLBの推進を目指していきたいと、気持ちを新たにしましたところ。お忙しい中東京に送り出してくださった看護部の皆様ありがとうございました。

渡辺

日本看護協会の坂本会長より、北村山公立病院の名が呼ばれたとき、とても感動しました。日本看護協会が、とても身近に感じた一日でした。

これからも、WLBを推進していきます。

工藤

当初は「WLBって何?」「どのように進めていけば良いの?」委員で集まって現状を話していると愚痴ばかりでしたが、協会からは生の声を言い合いすることが大切とアドバイスをいただきました。確かにそんな委員会は今までありませんでした。365日24時間患者さんへ切れ目なく看護を提供していくためには、私達看護師のパワーが絶対に必要であり、仕事と生活を両立させながら働き続けるためにWLB推進活動は重要であるとあらためて感じました。坂本会長から、「このカンゴザウルスを受け取ったからには4年目以降も取り組まなければいけない」と激励のお言葉をいただきました。

またとない、貴重な機会をいただきありがとうございました。

西塚

公立病院にカンゴザウルス来襲

